

別紙 審査基準

項目	評価の着眼点	配点
1 業務内容の理解度	県の考える業務目的・業務内容を十分に理解しているか。	10
	【JR東日本と連携したフェア業務】 実効性があり、かつ多くの首都圏消費者に対して本県への興味・関心を醸成させるような効果的な内容であるか。	15
	【フェアオープニングイベント業務】 上記フェアへの参加や本県への「食」を目的とした誘客につながるような効果的な内容であるか。	10
2 提案内容の的確性	【団体臨時列車を活用したPR業務】 ツアー参加者の思い出に残る内容かつ県産農産物のファン獲得につながる内容であるか。	10
	【公共交通広告等を活用したPR業務】 本県産農産物の魅力を首都圏消費者に対して効果的に伝えるとともに、フェアへの参加や「食」を目的とした誘客につながるような効果的な内容であるか。	10
	【独自提案】 仕様書に記載されていない独自の提案があるか	5
3 運営手法の確実性	【事業体制、スケジュール】 実施体制、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。	10
	【過去の実績】 類似業務の実績に鑑み、業務遂行能力が認められるか。	15
	【事業に関する専門的知識】 業務実施に係る専門知識を有しているか。	10
4 費用積算の妥当性	事業内容に対し、適切な経費が計上されているか。	5
合 計		100

【評価基準】

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
優	優	良	良	可	可	やや不良	やや不良	不良	不良
(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)

・評価項目ごとに、整数で絶対評価を行う。

・配点が15点及び5点の項目は、10～1の評価基準の数にそれぞれ1.5又は0.5を乗じた数を得点とする。